

## 市民フォーラム21 第5回 産業・経済部会 次第

日時：平成22年12月24日（金）13時30分～

場所：第2庁舎10階 会議室18

- 1 開会
- 2 部会長あいさつ
- 3 市民フォーラム21 第4回 産業・経済部会 会議概要について 別添資料
- 4 ワークショップのまとめ（案）について
  - (1) 政策5-1 賑わいと活力を生む観光・コンベンションの推進 <資料1>
  - (2) 政策5-5 人材の育成と雇用機会の確保 <資料2>
- 5 第四次長野市総合計画 後期基本計画（案）の項目について <資料3>
- 6 第四次長野市総合計画 後期基本計画大綱まとめ（案）について
  - (1) 第四次長野市総合計画 後期基本計画の体系（たたき台） <資料4>
  - (2) 政策5-1 賑わいと活力を生む観光・コンベンションの推進 <資料5>
  - (3) 政策5-2 活力ある農林業の推進と中山間地域の活性化 <資料6>
  - (4) 政策5-3 特色ある産業の集積と工業の高付加価値化 <資料7>
  - (5) 政策5-4 魅力と賑わいあふれる商業の振興 <資料8>
  - (6) 政策5-5 人材の育成と雇用機会の確保 <資料9>
- 7 今後の予定について
- 8 閉会

### 次回の予定

日時：平成23年1月19日（水） 9:30～11:30

会場：市役所第1庁舎8階 第1委員会室

持ち物：第四次長野市総合計画

第四次長野市総合計画 前期基本計画の現況と課題

市民フォーラム21 第4回産業・経済部会 ワークショップまとめ

<資料1>

日時	平成22年11月25日(木) 9時30分～	会場	長野市役所 会議室17
政策	賑わいと活力を生む観光・コンベンションの推進		
5-1			

※分類の記号

W:ワークショップで検討された意見

K:欠席者又は審議会委員(他作業部会所属)の意見

行No.	大項目 項目	分類
1	<b>善光寺観光</b>	
2	善光寺の歴史を活用した街づくり。	W
3	善光寺との連携強化。	W
4	地域の住民が善光寺に提案していくことも必要。	W
5	善光寺の新しい魅力づくりには、営業目的のみでなく一般市民(住民)の参加が必要。	W
6	地元の人が善光寺を知り大切にすることが必要。	W
7	善光寺の行事など眠っている観光資源を発掘し観光にいかしたい。	W
8	灯明まつりを表参道にも広めたい。	W
9	イルミネーションをトイゴから善光寺まで実施してほしい。	W
10	<b>善光寺周辺の環境整備</b>	
11	善光寺の駐車場が本堂の裏にあり観光客が中央通りまで来ない。	K
12	善光寺参拝客が中央通りまで下りて来ない。	W
13	善光寺門前側の駐車場不足。	W
14	権堂付近に駐車場を整備し中央通りを歩けるようにできないか。	K
15	善光寺・中心市街地にトイレが少ない。	W
16	中心市街地と善光寺周辺に案内板が少ない。	W
17	善光寺門前に案内所が欲しい。	W
18	善光寺周辺の交通渋滞がひどい。	W
19	<b>広域観光</b>	
20	観光に適した自然・歴史資源などが豊富。	K
21	犀川を通した観光の充実。	W
22	善光寺の他に松代、戸隠など多様な観光戦略が行われていることは良い。	W
23	戸隠・善光寺などの観光地は観光客が増加している。	K
24	善光寺だけではない魅力ある街づくり。	W
25	小規模観光事業についてどのように進めていくのが良いか。(行政・住民の関与の仕方等)	W
26	イヤークャンペーン等で力を入れているところは良いが、全市的な魅力に欠けている。	W
27	松代は歴史もあり長野インターに近くとてもいい町だと思うが県外からの観光客が少ないように思う。	K
28	戸隠など高地の観光地で、上高地やスイスのツェルマツのように環境に配慮した観光振興ができないか。(交通規制、電気自動車など)	K
29	長野駅周辺に町村等が出店して観光対策ができないか。	W
30	広域観光の推進のため長野市以外も含めたルートづくりが必要。	W
31	鬼無里ルートは道路状況が悪い。	W
32	戸隠の鏡池入口の道路が狭く渋滞する。	W

【作業部会意見・まとめ(案)】

善光寺の歴史をいかした街づくり

地域の魅力づくりへの市民参加の促進

善光寺の歴史等に関する市民の理解促進  
新たな観光資源の発掘

イベントを活用した地域の活性化

駐車場の適正配置

善光寺界限や中心市街地における観光客の受入体制の整備

地域の魅力をいかした多様な観光戦略

周辺地域との連携による広域観光の推進

観光地へのアクセスなど観光客の受入環境の整備

行No.	大項目 項目	分類
33	<b>滞在型観光</b>	
34	長野に一泊という企画が欲しい。	W
35	宿泊してまでの観光コースができていない。	W
36	スローライフのPRとメニューづくりが必要。	W
37	学生が白馬に泊まり市内では(信州新町)体育館のみを使用しているという状況がある。	W
38	えびす講煙火大会時に市内に宿泊する人が少ない。	W
39	えびす講は県内の他の地域にはない行事。観光に生かせないか。	W
40	訪れてみたくなる地域とは住民の持つ生活が原点。	W
41	食と農の体験など首都圏からの集客による「ふるさと長野」の再発見。	W
42	見るだけの観光から体験・体感の場が必要。	W
43	体感型観光の推進。(組織・窓口の一元化とPR・情報発信)	W
44	体験農業を計画しても受け入れ農家が少ない。(郷土食を伝える人)	W
45	小・中学生の農家民泊を一般に拡大するための取り組みが必要。	W
46	<b>おもてなし</b>	
47	観光地としてのCSの向上。(ホスピタリティ)	W
48	商店側の意識改革。(おもてなしの心、何が求められているのか研究)	W
49	客層に合わせた宿舎施設の確保が必要。(高いものから安いものまで)	W
50	案内板が充実していない。	W
51	オリンピックによる知名度の高さにより、観光客は多いがインフォメーションが整備されていない。	K
52	英語標識を増やすことが必要。	K
53	長野駅からの交通アクセスのインフォメーションが外国人には不親切である。	K
54	温泉、登山、スキーなどの英語インフォメーションを増やすことが必要。	K
55	長野発着の便利な高速バスの情報が外国人向けではない。	K
56	英語インフォメーションとホームページの強化が必要。	K
57	地元の住民が地元のことを理解する努力が必要。(善光寺、松代、戸隠など)	W
58	商店の方も地域の歴史に関心を持ってほしい。	W
59	観光ガイド(地元の魅力を発信できる人)の育成が必要。	W
60	個人観光客向けに、歴史などの知識を伝達するガイドを(1日に何回か時間を決めて)してはどうか。	K
61	テーマパークの案内人のように面白おかしく観光地を案内する人がいても良い。	K

【作業部会意見・まとめ(案)】

宿泊を伴う旅行企画や観光コースづくりなどによる滞在型観光の推進

地域の特色をいかした体感型観光の推進

農業体験や農家民泊の促進と受入体制の整備

観光地としての「おもてなしの心」の醸成

観光客の多様なニーズへの対応

外国人観光客に対応したインフォメーションの整備

ホームページ等による海外への情報発信の強化

地域の歴史等に関する市民の理解促進

地域の魅力を伝える観光ガイドの育成

行No.	大項目 項目	分類
62	<b>情報発信・PR</b>	
63	ブログ・ツイッターの活用。	W
64	ウェブサイトを使ったPRで広く情報発信。	W
65	日本一の門前町をアピールしたい。	W
66	松代観光のより一層のPR強化。	W
67	イヤーキャンペーンを開催して合併した町村等をPRしているのは良い。	W
68	観光地をPRする企画が多くあるのは良い。	K
69	PRが全国的に発信されていない。	W
70	ディステーションキャンペーンで駅からガイドを行ったが全国から客が見える。重点的な宣伝ができないか。	W
71	行政の情報発信が下手。プロモーションの対応を始めたが、広報としての企画が良くない。	W
72	海外に向けての宣伝に工夫が必要。	W
73	<b>街づくり</b>	
74	ストーリー性のある観光地づくり。(善光寺を中心とした歴史など)	W
75	歴史をいかした街づくりをしてほしい。	W
76	〇〇通り、〇〇横丁のような仕掛けが必要。	W
77	長野駅から善光寺の間を歩いて楽しい街づくり。(鎌倉や高山など)	W
78	<b>若手・人材育成</b>	
79	若手商店主の育成が必要。	W
80	善光寺門前の若手の動きに注目したい。	W
81	門前の簡易宿泊施設などの動向に注目。外国人が門前に増えた。	W
82	<b>お土産</b>	
83	おやき、そばだけで名産品が無い。	W
84	長野の特徴あるお土産づくりと店づくり。	W
85	食べ物はその土地を大きく印象付ける。そば・おやき以外で観光客を呼び寄せる食べ物を提案してはどうか。(B級・C級グルメなど)	K
86	「善光寺新七名物」をつくり、販売店などをマップで紹介してはどうか。(小さくて手頃な価格で地域振興にも役立ちそうなもの)	K
87	観光客は増加したが、お土産などを買う人(量)が少なく、必ずしも地域に利益が上がっているとは思えない。	K
88	六次産業化で地域の魅力づくり。(一次、二次、三次産業のマッチング)	W
89	<b>コンベンション</b>	
90	各分野のコンベンションを誘致し、観光交流人口の増加につなげる。	W
91	スポーツイベントの誘致による観光振興。	W
92	海外からのコンベンション招致体制づくり。	W
93	<b>その他</b>	
94	オーバーユースの現状を認識することが必要。	K
95	特にオーバーユース気味の地域における自然環境や生態系への意識が低い。	K
96	農林業と観光とを結びつけた場合の、保全すべき自然環境或いは生態系についての具体的ガイドラインが無い。	K
97	専門家や学識経験者、関係省庁、地元が参画し、保全すべき場所との棲み分け計画を立てることが必要。	K

【作業部会意見・まとめ(案)】

インターネットを活用した情報発信の強化

地域の魅力を発信するPRの強化

国内外に向けた効果的なプロモーションの展開

地域の特色をいかしたストーリー性のある観光地づくり

歩いて楽しむことのできる街づくり

若手が活躍できる環境づくりと若手の人材育成

地域の特色をいかした名産品づくりと効果的な販売方法の確立

地域の魅力づくりにつながる農林業の六次産業化

国内外のコンベンションやスポーツイベントの誘致と招致体制づくり

生態系などの自然環境の保全と農林業や観光の振興との調和

市民フォーラム21 第4回産業・経済部会 ワークショップまとめ

<資料2>

日時	平成22年11月25日(木) 9時30分～	会場	長野市役所 会議室17
政策	人材の育成と雇用機会の確保		
5-5			

※分類の記号

W: ワークショップで検討された意見

K: 欠席者又は審議会委員(他作業部会所属)の意見

【作業部会意見・まとめ(案)】

行No.	大項目 項目	分類
1	<b>雇用環境</b>	
2	正規雇用が難しい。	K
3	男女とも非正規雇用が増加している。	W
4	首都圏から長野へ戻る若者が増えているが仕事が無い。	W
5	首都圏に出た大学生が長野へ帰ってきたくても就職ができない。	K
6	県や市の企業向け雇用対策を実績ベースで推進することが必要。	K
7	高卒で就職できずにアルバイト等をしている若者が多い。	K
8	中途採用の充実が必要。	W
9	製造業の進出を促進する施策が必要。(土地代が高い)	W
10	理科系大学の誘致による研究開発型産業の育成。	W
11	少子高齢化社会に合った地元での産業の育成が必要。	W
12	企業は営業効率を求めると働く機会は減少する。福祉や農業、観光等で新たな雇用を創出する必要がある。	W
13	長野製品のブランド化を図るために全国からアドバイザーを呼んでくる。	W
14	観光客向けの案内人の雇用ができないか。(マイスター等の資格制度の設置)	W
15	観光地の歴史や市の魅力などを観光客に伝えるため高齢者や若者を雇用できないか。(資格制度などの設置)	K
16	若者の目線で地域活性を目指す「～レンジャー」のような制度を設けられないか。(各地域に配置)	K
17	グリーンツーリズムのインストラクターの育成。	W
18	障害者の就労については、施設だけでは受入者数が少なすぎるため、一般企業での雇用がどうしても必要。	W
19	男女の賃金格差がある。	W
20	生活費に比べ一般賃金が低すぎる。	K
21	同企業内で経営者と一般社員の所得調査の実施。	K
22	<b>保育サービス</b>	
23	保育所の待機児童がいない。	W
24	(保育所が充実しており)パートとして働けるのは良い。	W
25	保育園やファミリーサポートセンターなど就学前児童の預かりが充実している。	W
26	保育サービスの更なる充実。(延長保育、一時預かり、夜間保育など)	W
27	放課後子どもプランにより就学児童の放課後の安全が図られている。	W
28	(一部で)児童館が不足している。	W
29	少子高齢化により女性の労働力が必要となっている。	W
30	結婚・出産により退職した女性が子育て後に再就職する職場が多くほしい。	W
31	育児休業制度を利用しない人の割合が8割近くにのぼる。(結婚・出産のため退職)	W
32	男性の家事・育児に費やす時間の割合が低い。	W
33	男女差ではなく個性と能力を重視すべき。(学部や職業の選択)	W

安定した雇用の確保

企業進出や産業の育成による雇用の創出

企業における障害者の雇用促進

賃金体系など雇用環境への対策

仕事と子育てを両立できる環境づくり

女性の就業機会の拡大と雇用の確保  
育児休業制度の利用促進

男女差による固定的な価値観の見直し

行No.	大項目 項目	分類
34	<b>定年後の人材</b>	
35	定年後の人材育成をしてほしい。	W
36	意欲のある中高齢者が多いという地域性をいかしたい。	W
37	少子化による労働力人口の減少を考慮し定年後の優秀な人材を活用するための体制・制度づくりが必要。	W
38	<b>教育</b>	
39	職業訓練などの制度が充実している。	K
40	ものづくりの高度化でスキル不足が見られる。	W
41	利益の追求だけでなく人材を育成する企業努力が必要。	W
42	人材を育成するのは大学と企業の役目。	W
43	奨学金等により学生の頃から優秀な人材を育てられないか。	K
44	創業者を育成していくことが必要。	W
45	職業適正のミスマッチがある。	W
46	企業は協調性やリーダーシップ、バイタリティがある人を求めるが、自己中心的な人が増えている。家庭教育や学校教育が大切。	W
47	企業の目標が判断しづらい時代。求めている人材が不明確。	W
48	自分というものを把握していない。就労後に離職する若者が多い。	W
49	小・中学校での職業教育を見直す必要がある。	W
50	行政も一般企業も職場体験の機会を多く取り入れる環境づくりを行ってはどうか。	W
51	小・中学生の企業見学等の回数を増やすことで、若いうちに自分の適性を感じとらせる必要がある。	W
52	職場体験を多くしてほしい。	W
53	働くという観点での義務教育・高校教育が行われていない。	W
54	職業高校への進学者を増やす。	W
55	普通高校偏重という親の意識を変えていく必要がある。	W
56	小さい頃から地域を大切に作る気持ちを育てる必要がある。	W
57	ふるさと、地元の良さを教育の中で教える必要がある。(地元企業への就職)	W
58	<b>商業</b>	
59	商店で家業を継ぐ人が少ない。	W
60	農業や個人商店など家業を継ぐことに対して不安を感じている人や継ぐことを諦めている人が多い。	K
61	商店等における就業に対する不安の解消。(奨励金等の支援)	W
62	門前では空き店舗を活用する動きがある。(家業が継げない場合でも他の人が店舗を継ぐ)	W
63	商店主の後継者難と言われているが、商店会活動は父・子の出番づくりが必要。(青年部の設置)	W
64	住民自治協議会に若手中心の青年部が無い。	W
65	若い人の意見が社会に反映されておらず人材が育たない。	W
66	地元の商店の若い人たちがNPOを立ち上げ頑張っている。	W

【作業部会意見・まとめ(案)】

中・高齢者の人材の活用と育成

人材育成の充実

創業者の育成と支援

雇用のミスマッチへの対策

職場体験や職業教育の充実

地元への誇りや愛着心の醸成

商業における後継者の育成

まちづくりへの若者の参加促進

行No.	大項目 項目	分類
67	<b>農林業</b>	
68	不況により林業に多くの人の応募がある。	W
69	林業において、国や県による研修体制ができており成果をあげている。	W
70	林業においては、一人前になるまで3～5年必要であるが事業体に指導者がいない。	W
71	林業は低賃金で労災事故が多く、仕事がきついため離職する人が多い。	W
72	六次産業の創出。そのための、人づくり、技術の導入、地域の意識改革が必要。	W
73	農産物加工施設設置への支援に基づく法人化への誘導。(雇用創出につなげる)	W
74	地場産センターがあり農業者が頑張っている。	W
75	農業法人の設立による若者の雇用の確保。	W
76	集落営農組織の育成。(中心人物の発掘・育成)	W
77	新規就農者への支援。	W
78	就農に対する不安の解消。(奨励金等の支援)	W
79	農業や個人商店など家業を継ぐことに対して不安を感じている人や継ぐことを諦めている人が多い。	K
80	就農里親制度の活用。(新規就農者の技術習得や農地の確保等への支援)	W
81	子供の頃から緑教育を進めることが必要。(農林業に触れる機会が無い)	W
82	市民全員が必ず農業に携わるような仕組みづくり。	W

【作業部会意見・まとめ(案)】

林業の担い手の育成

農林業の六次産業化や集落営農の組織化による雇用の創出

農業の担い手の育成と支援

農林業を身近に感じることでできる環境づくり

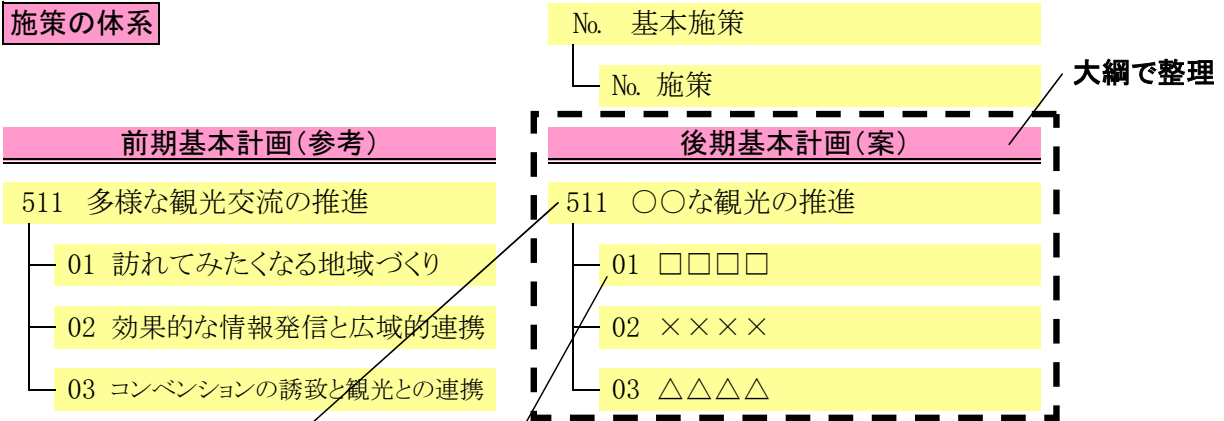
## 第四次長野市総合計画 後期基本計画(案) イメージ

### 5 いきいきと産業が育ち賑わいと活力あふれるまち【産業・経済分野】

政策	賑わいと活力を生む観光・コンベンションの推進
5-1	

現行のとおり

#### 施策の体系



主担当	産業振興部
-----	-------

基本施策	〇〇な観光の推進
511	
【方針(基本施策の目指すもの)】	
〇〇…観光・コンベンション都市“ながの”を目指します。 <span style="float: right;">後期基本計画大綱(案)構成要素等をもとに整理する。</span>	
【現況と課題】	
<ul style="list-style-type: none"> <li>・〇〇…</li> <li>・〇〇…が必要</li> <li>・〇〇…</li> <li>・〇〇…が必要</li> </ul> <span style="float: right;">作業部会の意見、第四次長野市総合計画 前期基本計画 現況と課題「2 基本施策の現状」及び「3 基本施策を展開する上での課題」等をもとに整理する。</span>	

大綱で整理

施策	□□□□	主担当	観光課
511-01			

【施策の目標】	
【主な取組】	
<ul style="list-style-type: none"> <li>・</li> <li>・</li> <li>・</li> <li>・</li> </ul> <span style="float: right;">施策を決めるに当たり、後期基本計画大綱(案)構成要素を参考とする。</span>	

大綱決定後に整理

【アンケート指標(市民が思う割合)】	現状値(H23)	目標値(H28)

大綱決定後に整理

【指標項目】	現状値(H23)	目標値(H28)



# 第四次長野市総合計画 後期基本計画の体系(たたき台)

## 5 いきいきと産業が育ち賑わいと活力あふれるまち【産業・経済分野】

### 計画の体系

No. 政策

No. 基本施策

No. 施策

### 前期基本計画

### 後期基本計画大綱(たたき台)

#### 5-1 賑わいと活力を生む観光・コンベンションの推進

511 多様な観光交流の推進

- 01 訪れてみたくなる地域づくり
- 02 効果的な情報発信と広域的連携
- 03 コンベンションの誘致と観光との連携

511 多様な観光交流の推進

- 01 訪れてみたくなる地域づくり
- 02 効果的な情報発信と広域的連携
- 03 コンベンションの誘致と観光との連携

#### 5-2 活力ある農林業の推進と中山間地域の活性化

521 未来に向けた農業の再生・振興

- 01 地域農業の確立と経営基盤づくり
- 02 消費者や市場と結びついた産地づくり
- 03 新鮮で安全・安心な農産物づくり

521 未来に向けた農業の再生・振興

- 01 地域農業の確立と経営基盤づくり
- 02 消費者や市場と結びついた産地づくり
- 03 新鮮で安全・安心な農産物づくり

522 中山間地域の活性化

- 01 中山間地域の農業振興
- 02 中山間地域の魅力の向上

字句の整理

字句の整理

他分野で整理

522 **中山間地域の農業振興**

- 01 **中山間地域の特性をいかした農業の振興**
- 02 **中山間地域の魅力の向上**

523 豊かな森林づくりと林業の振興

- 01 森林資源の保全と活用
- 02 親しみの持てる森林づくり

523 豊かな森林づくりと林業の振興

- 01 森林資源の保全と活用
- 02 親しみの持てる森林づくり

#### 5-3 特色ある産業の集積と工業の高付加価値化

531 産業の集積と工業の活性化

- 01 産学行連携の推進と新産業の創出
- 02 既存産業の振興とイノベーション支援
- 03 企業立地の推進

531 産業の集積と工業の活性化

- 01 産学行連携の推進と**ものづくり産業の振興**
- 02 **既存産業の振興とイノベーション支援**
- 02 企業立地の推進

統合・字句の整理

#### 5-4 魅力と賑わいあふれる商業の振興

541 力強い商業への転換

- 01 中心市街地の魅力づくり
- 02 意欲的な取組への支援
- 03 地域商業の強化と環境整備

541 力強い商業への転換

- 01 中心市街地の魅力づくり
- 02 **創業者や意欲的な商店街の**取組への支援
- 03 地域商業の強化と環境整備

字句の整理

#### 5-5 人材の育成と雇用機会の確保

551 安定した地域雇用の確保

- 01 雇用促進と人材の育成・活用
- 02 勤労者福祉の充実

551 安定した地域雇用の確保

- 01 雇用促進と人材の育成・活用
- 02 勤労者福祉の充実

# 第四次長野市総合計画 後期基本計画 大綱まとめ(案)

## 政策 5-1 賑わいと活力を生む観光・コンベンションの推進

作業部会意見・まとめと前期基本計画 現況と課題 の項目

基本施策名称 **多様な観光交流の推進**

施策名称

行No. **主な取組(キーワード、要素)** 分類

1	<b>訪れてみたくなる地域づくり</b>	
2	○歴史・文化や自然などの地域資源を活用した地域ブランドの創造と確立	Z
3	○地域ブランドの確立とブランド力の向上	H
4	○地域の特色をいかしたストーリー性のある観光地づくり	W
5	○善光寺の歴史をいかした街づくり	W
6	○地域の魅力をいかした多様な観光戦略	W
7	○地域住民や観光関連事業者等と行政の協働	Z
8	○地域・観光関連事業者・行政等の連携の強化	H
9	○地域が主体となった取組への支援	H
10	○地域の魅力づくりへの市民参加の促進	W
11	○若手が活躍できる環境づくりと若手の人材育成	W
12	○善光寺の歴史等に関する市民の理解促進	W
13	○新たな観光資源の発掘	W
14	○モデル地域を設定した年次計画による集中的な事業展開	Z
15	○地域ごとの成功事例の共有化と他地域への展開	Z
16	○地域が主体となった取組の継続・発展	H
17	○イヤーキャンペーンでの成功事例の共有化	H
18	○滞在型・周年型観光や体感型観光への転換	Z
19	○多様な観光ニーズに対応する観光ルートやプログラムづくりの推進	Z
20	○多様化する観光客のニーズに対応した地域色のあるプログラムづくりとPRの強化	H
21	○宿泊を伴う旅行企画や観光コースづくりなどによる滞在型観光の推進	W
22	○地域の特色をいかした体感型観光の推進	W
23	○観光客の多様なニーズへの対応	W
24	○地域の特色をいかした名産品づくりと効果的な販売方法の確立	W
25	○生態系などの自然環境の保全と農林業や観光の振興との調和	W
26	○観光客の受入体制の整備・充実	Z
27	○観光客の受入体制の整備・充実	H
28	○善光寺界隈や中心市街地における観光客の受入体制の整備	W
29	○観光地へのアクセスなど観光客の受入環境の整備	W
30	○分かりやすい案内表示や駐車場情報の提供	Z
31	○統一感のある分かりやすい案内表示の整備	H
32	○駐車場の適正配置	W
33	○おもてなしの心あふれるまちづくりと人づくりの推進	Z
34	○研修会の開催等を通じたおもてなしの心の醸成	H
35	○観光地としての「おもてなしの心」の醸成	W
36	○地域の歴史等に関する市民の理解促進	W
37	○地域の魅力を伝える観光ガイドの育成	W

後期基本計画大綱(案)構成要素

基本施策名称 **多様な観光交流の推進**

施策名称

主な取組

<b>訪れてみたくなる地域づくり</b>
◇地域資源を活用した地域ブランドの確立
◇地域住民や観光関連事業者等と行政の連携の強化
◇地域の歴史等に関する市民の理解促進と新たな観光資源の発掘
◇地域が主体となった取組の継続・発展と成功事例の他地域への展開に向けた支援
◇滞在型・周年型観光や体感型観光の推進
◇観光客の多様なニーズに対応した地域色のあるプログラムづくり
◇長野らしい「食」を通じた誘客の促進
◇自然環境に配慮した観光の振興
◇案内表示の整備など観光客の受入体制の整備・充実
◇「おもてなしの心」の醸成
◇地域の魅力を伝える観光ガイドの育成
<b>効果的な情報発信と広域的連携</b>
◇ホームページの充実による情報提供機能の強化
◇インターネットを活用した情報発信の強化
◇プロモーションやイベントを活用した地域ブランドの発信
◇国内外に向けた効果的なプロモーションの展開
◇効果的な広域観光エリアの形成による誘客の促進
◇周辺地域や事業者等との連携による広域観光の推進
◇「縁」のある都市との連携の強化・拡大
◇外国人観光客の誘致と受入体制の整備
◇周辺観光地との連携の強化
◇国内外に向けた効果的なプロモーションの展開
◇海外への情報発信や外国語による案内の充実
◇魅力ある観光商品づくりの促進
◇観光関連事業者等との情報の共有化
<b>コンベンションの誘致と観光との連携</b>
◇国内外のコンベンションの誘致・開催と招致体制づくり
◇国内外のスポーツコンベンションの誘致・開催に向けた取組
◇オリンピック等の開催の資産の活用と施設の計画的な改修
◇映像による市内観光地の知名度の向上と誘客促進
◇フィルムコミッションの活動による映画等の誘致と撮影への支援

### 38 効果的な情報発信と広域的連携

39	○インターネットやホームページによる情報提供機能の強化	Z
40	○ホームページの充実による更なる情報提供機能の強化	H
41	○インターネットを活用した情報発信の強化	W
42	○プロモーションやイベントを活用した地域ブランドの発信	Z
43	○プロモーションやイベントを活用した効果的な地域ブランドの発信	H
44	○イベントを活用した地域の活性化	W
45	○地域の魅力を発信するPRの強化	W
46	○国内外に向けた効果的なプロモーションの展開	W
47	○北信濃の広域観光ルート形成による誘客	Z
48	○効果的な広域観光エリアの形成による誘客促進	H
49	○北信地域の自治体や事業者等との連携	Z
50	○周辺地域との連携による広域観光の推進	W
51	○歴史や文化を介した「縁」のある都市との連携	Z
52	○「縁」のある都市との連携の強化・拡大	H
53	○外国人観光客誘致に向けた事業展開	Z
54	○外国人観光客の誘致や受入体制の整備	H
55	○外国人観光客に人気のある周辺観光地との連携の強化	H
56	○国内外に向けた効果的なプロモーションの展開	W
57	○海外への情報発信や外国語による案内の充実	Z
58	○海外への情報発信や外国語による観光案内の充実	H
59	○ホームページ等による海外への情報発信の強化	W
60	○外国人観光客に対応したインフォメーションの整備	W
61	○観光関連事業者等との情報の共有化による魅力ある商品づくりの促進	Z
62	○観光関連事業者等との情報の共有化	H
63	○長野でしか体験できない魅力ある商品づくりの促進	H

### 効果的な情報発信と広域的連携

◇ホームページの充実による情報提供機能の強化
◇インターネットを活用した情報発信の強化
◇プロモーションやイベントを活用した地域ブランドの発信
◇国内外に向けた効果的なプロモーションの展開
◇効果的な広域観光エリアの形成による誘客の促進
◇周辺地域や事業者等との連携による広域観光の推進
◇「縁」のある都市との連携の強化・拡大
◇外国人観光客の誘致と受入体制の整備
◇周辺観光地との連携の強化
◇国内外に向けた効果的なプロモーションの展開
◇海外への情報発信や外国語による案内の充実
◇魅力ある観光商品づくりの促進
◇観光関連事業者等との情報の共有化

### 64 コンベンションの誘致と観光との連携

65	○会議や学会など国内外のコンベンションの誘致・開催への支援	Z
66	○継続的・戦略的なコンベンションの誘致活動	H
67	○交通環境の変化等に的確に対応した誘致活動	H
68	○国内外のコンベンションやスポーツイベントの誘致と招致体制づくり	W
69	○スポーツの国際大会や全国大会等のスポーツコンベンションの誘致・開催	Z
70	○各種競技団体と連携したスポーツコンベンションの誘致・開催	H
71	○国内外のコンベンションやスポーツイベントの誘致と招致体制づくり	W
72	○オリンピック等の開催の資産の活用	Z
73	○オリンピック施設の有効活用	Z
74	○学生の合宿等の誘致によるオリンピック施設の更なる有効活用	H
75	○経年劣化したオリンピック施設の計画的な改修	H
76	○映画などの映像による市内観光地の知名度の向上と誘客促進	Z
77	○フィルムコミッションの活動による市内での映画やドラマの撮影支援	Z
78	○フィルムコミッションの活動による映画等の誘致と撮影への支援	H
79	○映画祭の開催等を通じた市内観光地の知名度の向上と誘客促進	H

### コンベンションの誘致と観光との連携

◇国内外のコンベンションの誘致・開催と招致体制づくり
◇国内外のスポーツコンベンションの誘致・開催に向けた取組
◇オリンピック等の開催の資産の活用と施設の計画的な改修
◇映像による市内観光地の知名度の向上と誘客促進
◇フィルムコミッションの活動による映画等の誘致と撮影への支援

### 80 ※ワークショップ(作業部会)のまとめの意見のうち、他の政策で整理をするもの。

81	○農業体験や農家民泊の促進と受入体制の整備	W	(政策5-2 活力ある農林業の推進と中山間地域の活性化【産業・経済分野】へ)
82	○地域の魅力づくりにつながる農林業の六次産業化	W	(政策5-2 活力ある農林業の推進と中山間地域の活性化【産業・経済分野】へ)
83	○歩いて楽しむことのできる街づくり	W	(政策5-4 魅力と賑わいあふれる商業の振興【産業・経済分野】へ)

※分類 Z:前期基本計画に記述された施策の【主な取組】 H:前期基本計画 現況と課題に記述された「施策の今後の方向性」 W:ワークショップ(作業部会)のまとめ

# 第四次長野市総合計画 後期基本計画 大綱まとめ(案)

## 政策 5-2 活力ある農林業の推進と中山間地域の活性化

作業部会意見・まとめと前期基本計画 現況と課題 の項目

基本施策名称 **未来に向けた農業の再生・振興**

施策名称

行No. **主な取組(キーワード、要素)** 分類

1	<b>地域農業の確立と経営基盤づくり</b>	
2	○ 地域全体で農業を支える取組の推進	Z
3	○ 地域全体で農業を支える取組の推進	H
4	○ 認定農業者や農業法人など、意欲ある多様な担い手の育成・確保	Z
5	○ 農作業や機械の共同化、集落営農の組織化などへの支援	Z
6	○ 新規就農者の育成や集落営農の組織化への支援	H
7	○ 農業機械の共同化等の促進	H
8	○ 集落営農の組織化	W
9	○ 農業の企業化による生産体制づくり	W
10	⇒(政策5-3 特色ある産業の集積と工業の高付加価値化【産業・経済分野】から)	
11	○ 農業の担い手の育成と支援	W
12	⇒(政策5-5 人材の育成と雇用機会の確保【産業・経済分野】から)	
13	○ 農業の近代化などによる農業後継者の確保	W
14	○ 農林業を身近に感じることのできる環境づくり	W
15	⇒(政策5-5 人材の育成と雇用機会の確保【産業・経済分野】から)	
16	○ 集落営農や農業の安定経営への支援	Z
17	○ 農業者の経営規模の拡大や経営の安定化	H
18	○ 儲かる農業の仕組みづくり	W
19	○ 農業公社など地域農業の支援体制の整備	Z
20	○ 農業公社や大学等との連携	W
21	○ 法人化への支援やブランド化事業など地域農業の支援体制の充実	H
22	○ 農業の担い手への農地の利用集積などによる優良農地の保全	Z
23	○ 担い手への農地の利用集積など農地の流動化と優良農地の保全	H
24	○ 農地の集約化	W
25	○ 関係機関と連携した農地等の情報の共有化	H
26	○ 作付け奨励や市民農園等による農地の有効活用	Z
27	○ 耕作放棄地の発生防止、解消	Z
28	○ 農地の有効活用と耕作放棄地の解消・防止	H
29	○ 耕作放棄地の発生を予防するための新たな対策の検討	H
30	○ 耕作放棄地の解消	W
31	○ 農道・ほ場・かんがい施設等の農業生産基盤の整備	Z
32	○ 地域の実情に応じた農業生産基盤の整備	H
33	○ 河川の排水機場の整備による農地や流域内の内水被害の防止	Z
34	○ 農地や流域内の内水被害の防止など計画的・継続的な洪水防止対策	H

### 35 消費者や市場と結びつけた産地づくり

36	○ 地域特性をいかした農畜産物の産地化やブランド化の推進	Z
37	○ 地域特性をいかした農畜産物の産地化	H
38	○ 農畜産物のブランド化の推進	H
39	○ 果樹等の産地の維持に向けた取組の検討	H
40	○ ブランド等の情報発信やPRによる消費者や市場への浸透	Z
41	○ ブランド等の情報発信やPRの強化による消費者や市場への浸透	H
42	○ 農産加工品等のPRの強化	W
43	⇒(政策5-3 特色ある産業の集積と工業の高付加価値化【産業・経済分野】から)	
44	○ 地元産の農産物や農村文化のPRと食文化の伝承	W
45	○ 地域の食文化を発信する特色ある農畜産物の産地化の推進	Z
46	○ 地域の食文化を発信する特色ある産地化の推進	H
48	○ 小麦・大豆・そばなどの奨励作物の生産拡大	Z
49	○ 地域奨励作物の生産拡大と生産農家の経営の安定化に向けた支援	H
47	○ 機械化が進みづらい地域における産地の維持に向けた対策の検討	H
50	○ おやき・味噌・豆腐・そば等の食品加工や販売との連携	Z
51	○ おやき・味噌・豆腐・そば等の食品加工や販売との連携	H
52	○ 農・商・工の連携	W
53	○ 農業の六次産業化	W
54	⇒(政策5-3 特色ある産業の集積と工業の高付加価値化【産業・経済分野】から)	
55	○ 地域の魅力づくりにつながる農林業の六次産業化	W
56	⇒(政策5-1 賑わいと活力を生む観光・コンベンションの推進【産業・経済分野】から)	
57	○ 農産物の加工や地域の特色をいかした特産品の開発等による農産物の高付加価値化	W
58	○ 海外を含めた新たな販売ルートの確保と有効な販売方法の確立	W
59	○ 農産加工品の販売ルートの開拓	W
60	⇒(政策5-3 特色ある産業の集積と工業の高付加価値化【産業・経済分野】から)	
61	○ 付加価値の高い産地づくり	Z
62	○ 付加価値の高い産地づくり	H
63	○ 先進技術や新品種の導入、農業生産の近代化・合理化の促進	Z
64	○ 新わい化などの新技術や新品種の導入への支援	H
65	○ 薬草の産地化と契約栽培による安定した農業経営	H
66	○ 薬草の試験栽培による栽培適地の確認	H

### 67 新鮮で安全・安心な農産物づくり

68	○ 安全・安心な農産物の生産の促進	Z
69	○ 安全・安心な農産物の生産の促進	H
70	○ 減農薬や減化学肥料など環境にやさしい農業の取組への支援	Z
71	○ 環境にやさしい農業の取組への支援	H
72	○ 新鮮な地元農産物の地域内流通と消費の拡大	Z
73	○ 地元農畜産物の地域内流通と消費の拡大	H
74	○ 市民や事業者との協働による「地産地消」の取組の推進	Z
75	○ 地産地消の普及促進に向けたPRの強化	H
76	○ 地産地消の普及に向けた消費者の意識づくり	W
77	○ 学校給食等における地域食材の利用促進などの取組の充実	H
78	○ 学校給食における地元農産物の利用促進	W
79	○ 生産情報の発信・提供の促進	Z
80	○ 生産情報の発信・提供の強化	H
81	○ 安全・安心な農産物の消費者への分かりやすいPR	Z
82	○ 長野市農業祭の充実による安全・安心な農産物のPRの強化	H
83	○ 消費者と生産者の情報交換の場や交流機会の創出	H
84	○ 有機資源(バイオマス)を活用した堆肥づくりなど循環型農業の推進	Z
85	○ 循環型農業に関する研究の推進	H
86	○ 循環型農業に対する生産者の意識の向上	H
87	○ 資源の有効利用による環境にやさしい産業の育成	W
88	⇒(政策5-3 特色ある産業の集積と工業の高付加価値化【産業・経済分野】から)	

後期基本計画大綱(案)構成要素

基本施策名称 **未来に向けた農業の再生・振興**

施策名称

主な取組

### 地域農業の確立と経営基盤づくり

- ◇ 農業経営の安定化への支援
  - ◇ 農業公社等との連携による地域農業の支援体制の整備
  - ◇ 農作業や農業機械の共同化など集落営農の組織化への支援
  - ◇ 地域全体で農業を支える取組の推進
  - ◇ 認定農業者や農業法人など多様な担い手の確保・育成
  - ◇ 農業後継者の確保と新規就農者の育成
- 
- ◇ 農地の流動化と優良農地の保全
  - ◇ 関係機関と連携した農地等の情報の共有化
  - ◇ 農地の有効利用と耕作放棄地の解消・発生防止
- 
- ◇ 地域の実情に応じた農業生産基盤の整備
  - ◇ 計画的・継続的な内水被害の防止対策

### 消費者や市場と結びつけた産地づくり

- ◇ 地域特性をいかした農畜産物の産地化やブランド化の推進
  - ◇ 果樹等の産地の維持に向けた取組
  - ◇ ブランド等の情報発信やPRの強化による消費者や市場への浸透
  - ◇ 地元産の農産物や農村文化のPRと食文化の伝承
- 
- ◇ 地域の食文化を発信する特色ある農畜産物の産地化の推進
  - ◇ 地域奨励作物の生産拡大と生産農家の経営の安定化に向けた支援
  - ◇ 農・商・工の連携による食品加工や販売の促進
  - ◇ 農業の六次産業化
  - ◇ 地域の特色をいかした特産品の開発等による農産物の高付加価値化
  - ◇ 海外を含めた新たな販路の拡大等への支援

### 新鮮で安全・安心な農産物づくり

- ◇ 付加価値の高い産地づくり
  - ◇ 先進技術や新品種の導入、農業生産の近代化・合理化の促進
  - ◇ 契約栽培による薬草の産地化
- 
- ◇ 安全・安心な農産物の生産の促進
  - ◇ 環境にやさしい農業の取組への支援
  - ◇ 新鮮な地元農産物の地域内流通と消費の拡大
- 
- ◇ 「地産地消」の推進と消費者の意識づくり
  - ◇ 学校給食等における地元農産物の利用促進
- 
- ◇ 生産情報の発信・提供
  - ◇ 安全・安心な農産物の消費者へのPR
  - ◇ 消費者と生産者の情報交換の場や交流機会の創出
- 
- ◇ 資源の有効利用による環境にやさしい農業

※分類 Z:前期基本計画に記述された施策の【主な取組】 H:前期基本計画 現況と課題に記述された「施策の今後の方向性」 W:ワークショップ(作業部会)のまとめ

# 第四次長野市総合計画 後期基本計画 大綱まとめ(案)

## 政策 5-2 活力ある農林業の推進と中山間地域の活性化

作業部会意見・まとめと前期基本計画 現況と課題 の項目			後期基本計画大綱(案)構成要素	
基本施策名称	中山間地域の活性化		基本施策名称	中山間地域の農業振興
施策名称	中山間地域の農業振興		施策名称	中山間地域の特性をいかした農業の振興
行No.	主な取組(キーワード、要素)	分類	主な取組	
1	中山間地域の農業振興		中山間地域の特性をいかした農業の振興	
2	○農地や集落の維持と中山間地域が有する多面的な機能の保持	Z	◇農地や集落の維持と中山間地域が有する多面的な機能の保持	}
3	○農地や集落の維持の促進と中山間地域が有する多面的な機能の保持	H	◇中山間地域の農業と農村の活動への支援	
4	○中山間地域の農業と農村の活動への支援	Z	◇過疎化・高齢化により地域での農業の取組が困難な集落への対策	
5	○中山間地域の農業と農村の活動への支援	H		
6	○過疎化・高齢化により地域での農業の取組が困難な集落への対策の検討	H		
7	○中山間地域に適した作物の導入による畑作の振興	Z	◇中山間地域に適した作物の導入による畑作の振興	
8	○中山間地域に適した作物や高齢者でも取り組みやすい作物の導入の促進	H	◇地域の特色をいかした産業の育成	
9	○高齢者でも作れる作物の導入等による中山間地域の農業支援	W	◇農産物の加工・販売や特産品の開発などへの支援	
10	○地域の特色をいかした産業の育成への支援	Z		}
11	○地域の特色をいかした産業の育成	H		
12	○農産物の加工・販売や特産品の開発	Z		
13	○農産物の加工・販売や特産品の開発などへの支援	H		
14	○畑を荒らす有害鳥獣の被害防止に向けた対策の推進	Z		
15	○有害鳥獣の被害防止に向けた対策の推進	H	◇野生鳥獣による農作物被害の防止に向けた対策	
16	○農作物被害の防止に向けた地域ぐるみでの取組の促進	H	◇農作物被害の防止に向けた地域ぐるみでの取組の促進	
17	○関係団体との連携や情報の共有化等による効果的な対策の検討	H		
18	○野生鳥獣被害への対策	W		
19	○農業体験や農家民泊など地域住民が主体となる都市農村交流の取組の推進	Z	◇地域住民が主体となる都市農村交流の取組の促進	
20	○地域住民が主体となる都市農村交流の推進	H	◇自然環境に配慮した都市農村交流	
21	○農家民泊などの都市農村交流	W	◇農家民泊等の受入体制の整備への支援	
22	○生態系などの自然環境の保全と農林業や観光の振興との調和	W	◇NPOや農協(JA)、旅行事業者との連携	
23	○農業体験や民泊を伴う修学旅行の受け入れに向けた組織づくりへの支援	H		
24	○地域間の連携による農家民泊等の受入体制の整備への支援	H		
25	○農業体験や農家民泊の促進と受入体制の整備	W		
26	⇒(政策5-1 賑わいと活力を生む観光・コンベンションの推進【産業・経済分野】から)			
27	○NPOや農協(JA)、旅行事業者との連携	Z		

施策522-02  
「中山間地域の  
魅力の向上」から

※以下、【行政経営分野】で整理

28 中山間地域の魅力の向上			中山間地域の魅力の向上	
29	○農業体験や農家民泊など地域住民が主体となる都市農村交流の取組の推進	Z	◇地域住民が主体となる都市農村交流の取組の促進	}
30	○地域住民が主体となる都市農村交流の推進	H	◇自然環境に配慮した都市農村交流	
31	○農家民泊などの都市農村交流	W	◇農家民泊等の受入体制の整備への支援	
32	○生態系などの自然環境の保全と農林業や観光の振興との調和	W	◇NPOや農協(JA)、旅行事業者との連携	
33	○農業体験や民泊を伴う修学旅行の受け入れに向けた組織づくりへの支援	H		
34	○地域間の連携による農家民泊等の受入体制の整備への支援	H		
35	○農業体験や農家民泊の促進と受入体制の整備	W		
36	⇒(政策5-1 賑わいと活力を生む観光・コンベンションの推進【産業・経済分野】から)			
37	○NPOや農協(JA)、旅行事業者との連携	Z		
38	○中山間地域での定住促進に向けた空き家の活用と情報提供	Z	◇中山間地域特有の課題の解決や活性化に向けた取組への支援	}
39	○県との連携による中山間地域での定住促進に向けた都市住民等への情報発信	H	◇中山間地域における定住促進	
40	○空き家を活用した移住策に関する事業のあり方の検討	H	◇中山間地域における後継者不足の解消	
41	○中山間地域特有の課題の解決や活性化に向けた地域の取組への支援	H		
42	○中山間地域における後継者不足の解消	W		

施策522-01  
「中山間地域の特性を  
いかした農業の振興」  
にも記載

第四次長野市総合計画 後期基本計画 大綱まとめ(案)

政策 5-2 活力ある農林業の推進と中山間地域の活性化

作業部会意見・まとめと前期基本計画 現況と課題 の項目	
基本施策名称	豊かな森林づくりと林業の振興
施策名称	
主な取組(キーワード、要素)	
分類	
1	<b>森林資源の保全と活用</b>
2	○ 様々な樹種が混じる混交林や天然林の適切な育成 Z
3	○ 多様性のある森林形成の推進 Z
4	○ 地域の特性に応じた多様性のある森林形成の推進 H
5	○ 森林の持つ公益的機能の発揮 H
6	○ 計画的な森林の育成 H
7	○ 計画的な森林の整備 W
8	○ 生態系などの自然環境の保全と農林業や観光の振興との調和 W
9	○ 間伐の促進による計画的な森林整備 Z
10	○ 集約化作業による間伐の推進 H
11	○ 効率的な森林の整備・保全 H
12	○ 森林所有者の意識の向上に向けた啓発活動 H
13	○ 森林所有者の森林に対する意識の向上 W
14	○ 森林整備の担い手確保 Z
15	○ 林業の担い手の育成 W
16	⇒(政策5-5 人材の育成と雇用機会の確保【産業・経済分野】から)
17	○ 森林ボランティア団体の育成 Z
18	○ 森林整備の担い手の確保と育成 H
19	○ 森林ボランティア団体との連携の強化 H
20	○ 森林ボランティア団体間における情報・技術の共有化の促進 H
21	○ 森林ボランティアや森林体験の積極的な情報発信 W
22	○ 林業労働の効率化に向けた林内道路の整備 Z
23	○ 林業労働の効率化に向けた林内路網の整備の推進 H
24	○ 林道等の開設が効率的に進まない地域における開設ルート及び工法の研究・検討 H
25	○ 木材事業者等と連携した地域材の利活用の促進による林業の活性化 Z
26	○ 木質バイオマスなど地域材の利活用に向けた木材事業者等との連携による研究 H
27	○ 地元産の木材の利用促進 W
28	○ 松くい虫などの森林病虫害の被害防止対策の推進 Z
29	○ 重点箇所を中心とした松くい虫などの森林病虫害による被害防止対策の推進 H
30	○ 人間と野生鳥獣との共存 Z
31	○ クマやサルなどの野生鳥獣の計画的な保護管理の推進 Z
32	○ 人間と野生鳥獣との共存に向けた総合的な野生鳥獣対策の推進 H
33	○ 地域や関係機関との連携による緩衝帯整備等の被害防止策の充実 H
34	<b>親しみの持てる森林づくり</b>
35	○ 森林学習や啓発活動などによる森林の重要性に対する市民の意識の高揚 Z
36	○ 森林の重要性に対する市民の意識の高揚 H
37	○ 森林体験や森林学習の充実 H
38	○ みどりの少年団活動などを通じた子どもたちの森林学習への支援 Z
39	○ みどりの少年団活動への支援などを通じた子どもたちの森林学習の促進 H
40	○ 森林や林業に対する親しみと理解を深める取組の推進 Z
41	○ 森林体験等を通じた森林や林業に対する親しみと理解を深める取組の推進 H
42	○ 農林業を身近に感じることのできる環境づくり W
43	⇒(政策5-5 人材の育成と雇用機会の確保【産業・経済分野】から)
44	○ 森林ボランティアや森林体験の積極的な情報発信 W
45	○ 飯綱高原の「体験の森」の森林作業体験等への活用 Z
46	○ 飯綱高原の「体験の森」を中心に市内全域の市有林の森林体験の場としての活用 H
47	○ 善光寺三門の葺き替えなど地域の文化財を守るための木材の地元での供給 Z
48	○ 市民との協働による二～三百年後を展望した「善光寺の森」づくり Z
49	○ 地域の文化財を守るため木材の地元での供給 H
50	○ 「善光寺の森」づくりの推進 H
51	○ 「善光寺の森」づくりへの市民参画に向けたPRの強化 H

後期基本計画大綱(案)構成要素

基本施策名称 豊かな森林づくりと林業の振興

施策名称

主な取組

森林資源の保全と活用

- ◇ 地域の特性に応じた多様性のある森林形成の推進
- ◇ 森林の持つ公益的機能を発揮するための計画的な森林の整備・育成
- ◇ 生態系などの自然環境に配慮した林業の振興
- ◇ 間伐の促進による計画的な森林の整備・保全
- ◇ 森林所有者の森林に対する意識の向上に向けた啓発

- ◇ 森林整備の担い手の育成・確保
- ◇ 森林ボランティア団体の育成
- ◇ 森林ボランティア団体との連携の強化と情報・技術の共有化の促進
- ◇ 森林ボランティアや森林体験の積極的な情報発信

- ◇ 地域の実情に応じた林内路網の整備
- ◇ 木質バイオマスなど地域材の利用促進

- ◇ 森林病虫害による被害防止対策の推進

- ◇ 人間と野生鳥獣との共存に向けた総合的な野生鳥獣対策の推進
- ◇ 野生鳥獣の計画的な保護管理の推進
- ◇ 地域等との連携した緩衝帯整備等の被害防止策の充実

親しみの持てる森林づくり

- ◇ 森林の重要性に対する市民の意識の高揚
- ◇ 森林体験や森林学習の充実
- ◇ 子どもたちの森林学習の促進

- ◇ 森林や林業に対する親しみと理解を深める取組の推進
- ◇ 森林ボランティアや森林体験の積極的な情報発信
- ◇ 飯綱高原の「体験の森」など市有林の森林体験の場としての活用

- ◇ 「善光寺の森」づくりを通じ地域の文化財を守るための地元木材の供給

# 第四次長野市総合計画 後期基本計画 大綱まとめ(案)

## 政策 5-3 特色ある産業の集積と工業の高付加価値化

作業部会意見・まとめと前期基本計画 現況と課題 の項目		後期基本計画大綱(案)構成要素	
基本施策名称	産業の集積と工業の活性化	基本施策名称	産業の集積と工業の活性化
施策名称	主な取組(キーワード、要素)	施策名称	主な取組
行No.	分類		
1	<b>産学行連携の推進と新産業の創出</b>		<b>産学行連携の推進とものづくり産業の振興</b>
2	○産業界・教育研究機関・公的試験研究機関・行政・金融機関などとの産学行連携の推進	Z	◇産学行連携の推進
3	○産学行連携の推進	H	◇企業とのコーディネート力や関係者相互を結ぶネットワークの強化
4	○企業とのコーディネート力や関係者相互を結ぶネットワークの強化	Z	
5	○企業とのコーディネート力や関係者相互を結ぶネットワークの強化	H	
6	○企業訪問の強化や情報の共有化、ものづくりサロンの充実	H	
7	○製品の高付加価値化、起業や新分野開拓への支援	Z	◇製品の高付加価値化、起業及び新分野開拓への支援
8	○製品の高付加価値化、起業及び新分野開拓への支援	H	◇研究開発拠点となる長野市ものづくり支援センターの利用促進
9	○研究開発拠点となる長野市ものづくり支援センターの活用	Z	
10	○研究開発拠点となる長野市ものづくり支援センターの利用促進	H	
11	○レンタルラボへの入居情報の効果的な周知や企業訪問を通じた入居希望企業の掘り起こし	H	
12	○地元企業への技術移転や新たな産業の集積の促進	Z	◇地元企業への技術移転や新たな産業の集積の促進
13	○新たな産業の集積の促進	H	◇大学等の研究機関の知的財産の活用
14	○大学等の研究機関の知的財産の活用	Z	◇産学間や産産間の共同研究開発事業への支援
15	○産学間や産産間の共同研究開発事業への支援	H	◇企業のニーズに応じた効果的な支援
16	○企業のニーズに応じた効果的な支援	H	
17	○ものづくり研究開発事業補助金等の補助事業のあり方の検討	H	
18	○ナノテクノロジーやバイオテクノロジー等を基盤とする新産業の創出・育成に向けた調査・研究	Z	◇新産業の創出・育成に向けた調査・研究
19	○ナノテクノロジーやバイオテクノロジー等を基盤とする新産業の創出・育成に向けた調査・研究の促進	H	◇地域の課題の解決に向けた新産業の創出と技術開発の促進
20	○先端技術の産業への活用	W	◇地域の特色をいかした製品の開発と産業の育成
21	○中山間地域の活性化など地域の課題の解決に向けた新産業の創出や技術開発の促進	H	
22	○地域のニーズに応じた製品づくり	W	
23	○地域の特色をいかした商品の開発と産業の育成	W	
24	○産業を取り巻く環境の変化への対応	W	
25	<b>既存産業の振興とイノベーション支援</b>		<b>既存産業の振興とイノベーション支援</b>
26	○企業の技術力向上、マーケティング戦略強化などへの支援	Z	◇企業の技術力向上、マーケティング戦略強化などへの支援
27	○産業フェアの開催による地域企業の技術や製品の内外へのアピール	Z	◇産業フェアの取組の充実
28	○産業フェアによる地域企業の技術や製品の更なるアピール	H	
29	○産業フェアのPRの強化	H	
30	○産業フェアの開催による広域的な企業間ネットワークの形成や産学連携の更なる促進	H	
31	○産業フェアにおける商談件数等の増加	H	
32	○制度資金の融資あっ旋など中小企業の経営基盤の安定化と経営強化への支援	Z	◇制度資金の融資あっ旋など中小企業の経営基盤の安定化と経営強化への支援
33	○制度資金の融資あっ旋など中小企業の経営基盤の安定化と経営強化への支援	H	
34	○景気動向に対応した適正な制度資金のあり方の検討	H	
35	○商工業の指導体制の強化に向けた商工団体への支援	Z	◇商工業の指導体制の強化に向けた商工団体への支援
36	○商工業の指導体制の強化に向けた商工団体への支援の継続	H	◇市内の商工団体の統合の促進
37	○商工会議所と商工会の統合の促進	Z	
38	○「1市町村1商工団体」を基本とした市内の商工団体の統合の促進	H	
39	○長野らしい特産品や特色ある製品など地場産業の振興につながる「ものづくり」の推進	Z	◇地場産業の振興につながる「ものづくり」の推進
40	○地域ブランドの育成と情報発信	Z	◇地域ブランドの育成・確立と情報発信
41	○地域ブランドの確立と地場産業の振興につながる「ものづくり」の促進	H	◇農・商・工の連携による長野らしい特産品や付加価値の高い製品づくり
42	○長野らしさを感じられる特産品や付加価値の高い製品づくり	H	◇「ものづくり」に携わる人材の確保・育成
43	○農・商・工の連携	W	
44	○特産品の開発やブランドの創出など工業技術を活用した農産物の高付加価値化	W	
45	○「ものづくり」に携わる「ひとづくり」の推進	H	
46	○ものづくりを身近に感じる環境づくり	W	
47	○企業の事業拡大につながる人材の確保等への支援	W	
48	○全国からの知恵と人材の集結	W	
49	<b>企業立地の推進</b>		<b>企業立地の推進</b>
50	○企業活動に快適な環境での産業集積に向けた産業団地の開発と分譲の推進	Z	◇企業ニーズに応じた産業団地の開発と分譲の推進
51	○企業ニーズに応じた産業団地の開発と分譲の推進	H	◇助成制度の充実と企業誘致の推進
52	○本市の強みをいかした産業集積	H	◇空き地・空き工場等の情報提供による工場立地の促進
53	○助成制度の充実と積極的な誘致活動の展開	H	
54	○工場等の立地促進のための助成や空き団地・空き工場等の情報提供	Z	
55	○空き団地・空き工場等の有効活用による企業立地の推進	H	
56	○関係機関等と連携した情報ネットワークの構築による情報提供機能の強化	H	
57	○産業動向を踏まえた新たな産業団地の立地に関する調査・研究	Z	◇新たな産業団地の整備に関する調査・研究
58	○総合的な視点に立った産業団地の立地に関する調査・研究の推進	H	
59	○企業の立地ニーズなどの産業動向の把握	H	
60	○適正な整備面積の設定や環境負荷の軽減、開発費の削減などに向けた調査・研究	H	
61	○都市型産業を含む新たな企業や事業所の誘致	Z	
62	○市街地や空きビルなどへの立地	Z	
63	○市街地の空きビルなどへの入居の促進	H	◇空きビルの情報提供等による市街地への事業所等の立地促進
64	○産業フェア等を活用した情報発信	H	
65	○関係機関等との連携による企業訪問などの誘致活動の展開	H	
66	<b>※ワークショップ(作業部会)のまとめの意見のうち、他の政策で整理をするもの</b>		
67	○農業の六次産業化	W	(政策5-2 活力ある農林業の推進と中山間地域の活性化【産業・経済分野】へ)
68	○農産加工品の販売ルートの開拓	W	(政策5-2 活力ある農林業の推進と中山間地域の活性化【産業・経済分野】へ)
69	○農業の企業化による生産体制づくり	W	(政策5-2 活力ある農林業の推進と中山間地域の活性化【産業・経済分野】へ)
70	○農産加工品等のPRの強化	W	(政策5-2 活力ある農林業の推進と中山間地域の活性化【産業・経済分野】へ)
71	○資源の有効利用による環境にやさしい産業の育成	W	(政策5-2 活力ある農林業の推進と中山間地域の活性化【産業・経済分野】へ)
72	○雇用の確保	W	(政策5-5 人材の育成と雇用機会の確保【産業・経済分野】へ)
73	○学校教育等の充実による人材の育成	W	(政策5-5 人材の育成と雇用機会の確保【産業・経済分野】へ)
74	○学生の地元企業への就職の促進	W	(政策5-5 人材の育成と雇用機会の確保【産業・経済分野】へ)
75	○市職員の専門性の確保	W	(政策0-5 成果重視による市民満足度の高い行政経営の推進【行政経営分野】へ)
76	○地域の実情を踏まえた適切な規制に基づく土地利用	W	(政策6-1 いきいきと暮らせるまちづくりの推進【都市整備分野】へ)

※分類 Z:前期基本計画に記述された施策の【主な取組】 H:前期基本計画 現況と課題に記述された「施策の今後の方向性」 W:ワークショップ(作業部会)のまとめ

# 第四次長野市総合計画 後期基本計画 大綱まとめ(案)

## 政策 5-4 魅力と賑わいあふれる商業の振興

作業部会意見・まとめと前期基本計画 現況と課題 の項目		
基本施策名称	力強い商業への転換	
施策名称		
行No.	主な取組(キーワード、要素)	分類
1	中心市街地の魅力づくり	
2	○ 中心市街地の賑わいや魅力創出のための商業環境の整備・支援	Z
3	○ 中心市街地の活性化に取り組むまちづくり長野への支援	H
4	○ 賑わいと魅力のある商業環境づくりの推進	H
5	○ 活力ある商店街づくり	W
6	○ 中心市街地の空き店舗対策と出店者への支援	H
7	○ 中心市街地の空き店舗へ出店後の支援策を含め支援のあり方の検討	H
8	○ 空き店舗の解消と有効活用	W
9	○ 駐車場情報の提供	W
10	○ 中心市街地活性化協議会等と協働による活性化の取組の推進	Z
11	○ 中心市街地活性化協議会等との協働による活性化に向けた取組の推進	H
12	○ 賑わい創出と回遊性の向上	Z
13	○ 日常的に賑わう商業空間づくりにつなげるための関係団体との連携	H
14	○ 歩いて楽しむことのできる街づくり	W
15	⇒(政策5-1 賑わいと活力を生む観光・コンベンションの推進【産業・経済分野】から)	
16	○ 市街地再開発や街並みの整備	Z
17	○ 中心市街地のまちづくりの動きと商業の一体的な取組	Z
18	○ 歩行者優先道路化事業など市街地再開発や街並みの整備	H
19	○ 中心市街地における商業の活性化に向けた取組の展開	H
20	意欲的な取組への支援	
21	○ 創業や空き店舗の活用	Z
22	○ 意欲的な取組やチャレンジする人の積極的な支援	Z
23	○ 創業支援や人材育成など商工団体等の取組との連携と支援策の検討	H
24	○ 経営指導など創業後の継続的な支援策の検討	H
25	○ 若者を中心とした地域商業の担い手の育成	W
26	○ 商業における後継者の育成	W
27	○ 商業における後継者の育成	W
28	⇒(政策5-5 人材の育成と雇用機会の確保【産業・経済分野】から)	
29	○ 創業者の育成と支援	W
30	⇒(政策5-5 人材の育成と雇用機会の確保【産業・経済分野】から)	
31	○ 市民と商店街が一体で盛り上げる地域づくりイベントの支援	Z
32	○ イベントへの支援	H
33	○ 内外からの大きな集客や賑わいにつながる独創的・効果的なイベントの支援	Z
34	○ イベントに集まった人を店舗に呼び込む販売促進につながる取組の支援	H
35	○ イベントによる賑わいの創出	W
36	○ 商店街のリーダーや活性化に取り組む人材の育成・支援	Z
37	○ 商店街のリーダーや活性化に取り組む人材の育成の推進	H
38	○ 商業の活性化に向けた取り組みへの支援と人材の育成	W
39	○ まちづくりへの若者の参加促進	W
40	○ まちづくりへの若者の参加促進	W
41	⇒(政策5-5 人材の育成と雇用機会の確保【産業・経済分野】から)	
42	○ 市内商店会の牽引役である商店会連合組織の活動への支援	H
43	地域商業の強化と環境整備	
44	○ 商店街の環境整備など地域と密着した商店街づくりへの支援	Z
45	○ 商店街の環境づくりへの支援	H
46	○ 商店街の施設整備や維持管理の経費負担軽減のための支援策の検討	H
47	○ ホームページやマップの作成など商店や商店街の情報発信・販売力強化への支援	Z
48	○ 商店や商店街の情報発信・販売力強化等に向けた取組の支援	H
49	○ 市のホームページを活用した商店街情報の発信強化	H
50	○ 商店街のPRの強化	W
51	○ 長野市に関する情報発信の強化	W
52	○ 郊外大型店との差別化に向けた取組への支援	Z
53	○ 商工団体等と連携した商店の経営革新の支援	Z
54	○ 消費者の視点に立った商業の振興	W
55	○ 観光客を意識した商業の振興	W
56	○ 特色をいかしたストーリー性のある商店街づくり	W
57	○ 長野らしい特色ある商業の振興	W
58	○ 地域の魅力や特色をいかした商業の振興	W
59	○ 長野らしい名物料理や土産物の創出と効果的な販売方法の確立	W
60	○ 農・商・工の連携	W
61	○ 市街地で暮らすことのできる商業環境づくり	W
62	○ 地域における連帯感の醸成	W
63	○ 宅配事業の充実や交通手段の確保など高齢化社会に対応した商業の振興	W
64	○ 制度資金の融資あっ旋	Z
65	○ 制度資金の融資あっ旋	H
66	○ 今後の景気動向を見定めた適正な制度資金のあり方の検討	H
67	○ 中小商店の経営基盤の安定化と経営強化への支援	Z
68	○ 中小商店の経営基盤の安定化と経営強化への支援	H
69	○ 商工業の指導体制の強化に向けた商工団体の支援	Z
70	○ 商工業の指導体制の強化に向けた商工団体の支援	H
71	○ 商工会議所と商工会の統合の促進	Z
72	○ 「1市町村1商工団体」を基本に市内の商工団体統合の促進	H
73	○ まちづくり三法を踏まえ、長野市商業環境形成指針の適切な運用	Z
74	○ 大型店の出店・増床に対する本市の土地利用や地域づくりとの整合	Z
75	○ 適正な商業施設の立地と良好な商業環境の形成	H
76	○ 長野市商業環境形成指針による本市の土地利用や地域づくりとの整合	H
77	○ 地域の特性に応じた適切な土地利用	W

後期基本計画大綱(案)構成要素	
基本施策名称	力強い商業への転換
施策名称	
主な取組	
中心市街地の魅力づくり	
◇ 中心市街地における賑わいと魅力ある商業環境づくりの推進	
◇ 空き店舗対策に向けた出店者への支援	
◇ 空き店舗の解消と有効活用	
◇ 商店街の駐車場情報の提供	
◇ 中心市街地活性化協議会等との協働による活性化に向けた取組の推進	
◇ 中心市街地の商業空間づくりと回遊性の向上	
◇ 歩いて楽しむことのできる街づくり	
◇ 市街地再開発や街並みの整備と商業の一体的な取組	
創業者や意欲的な商店街の取組への支援	
◇ 空き店舗の活用と創業への支援	
◇ 創業後の継続的な支援	
◇ 地域商業の担い手となる人材の確保・育成	
◇ 大きな集客や賑わいにつながるイベントへの支援	
◇ イベントを活用した販売促進につながる取組への支援	
◇ 商店街のリーダーや活性化に取り組む人材の育成	
◇ まちづくりへの若者の参加促進	
◇ 商店会の連携した活動への支援	
地域商業の強化と環境整備	
◇ 商店街の環境づくりへの支援	
◇ 商店街の施設整備や維持管理への支援	
◇ ホームページ等を活用した商店や商店街の情報発信や販売力強化への支援	
◇ 商店の経営革新と郊外大型店との差別化への支援	
◇ 観光客や消費者のニーズに応じた商店・商店街づくり	
◇ 地域の特色をいかした話題性のある商店街づくり	
◇ 店舗の減少など商業機能が低下した地域における商業活動の促進	
◇ 制度資金の融資あっ旋	
◇ 景気動向に対応した適切な制度資金のあり方の検討	
◇ 経営基盤の安定化と経営強化への支援	
◇ 商工団体への支援	
◇ 商工団体の統合促進	
◇ 適切な商業施設の立地と良好な商業環境の形成	
◇ 長野市商業環境形成指針による本市の土地利用や地域づくりとの整合	

※分類 Z:前期基本計画に記述された施策の【主な取組】 H:前期基本計画 現況と課題に記述された「施策の今後の方向性」 W:ワークショップ(作業部会)のまとめ

# 第四次長野市総合計画 後期基本計画 大綱まとめ(案)

## 政策 5-5 人材の育成と雇用機会の確保

作業部会意見・まとめと前期基本計画 現況と課題 の項目		
基本施策名称	安定した地域雇用の確保	
施策名称	主な取組(キーワード、要素)	
行No.		分類
1	<b>雇用促進と人材の育成・活用</b>	
2	○ ニート・フリーター・新卒者の職業意識の形成と就職支援	Z
3	○ ニート等の若年無業者の職業的自立のための取組	H
4	○ ハローワーク等と連携した若年者の就職支援	H
5	○ 離職率の高い若者の職場定着の促進に向けた対策	H
6	○ 雇用のミスマッチへの対策	W
7	○ 学生の地元企業への就職の促進	W
8	⇒(政策5-3 特色ある産業の集積と工業の高付加価値化【産業・経済分野】から)	
9	○ 地元への誇りや愛着心の醸成	W
10	○ 人材育成の充実	W
11	○ 職場体験や職業教育の充実	W
12	○ 学校教育等の充実による人材の育成	W
13	⇒(政策5-3 特色ある産業の集積と工業の高付加価値化【産業・経済分野】から)	
14	○ 高齢者の就業機会拡大への支援	Z
15	○ 高齢者への就業機会の提供	H
16	○ ハローワークなどの関係機関と連携した高齢者等の就職支援	H
17	○ 団塊の世代など経験豊富な人材の活用と技術継承の促進	Z
18	○ 高齢者の経験・知識や能力の活用	H
19	○ 中・高齢者の人材の活用と育成	W
20	○ 長野市職業相談室の利用状況の検証と今後の業務内容の検討	H
21	○ 男女共同参画に基づく女性の就業機会拡大への支援	Z
22	○ 男女差による固定的な価値観の見直し	W
23	○ 女性の就業機会の拡大と雇用の確保	W
24	○ 事業所への啓発等による仕事と子育てを両立できる環境づくり	Z
25	○ 事業所への啓発等を通じた仕事と子育て等を両立できる環境づくり	H
26	○ 仕事と子育てを両立できる環境づくり	W
27	○ 就業者への各種支援制度の周知	H
28	○ 育児休業制度の利用促進	W
29	○ 支援制度を安心して利用することのできる職場環境の整備の促進	H
30	○ 支援制度の利用促進に向けた効果的な啓発方法の検討	H
31	○ 子育てしやすい職場環境づくりを進める事業者への表彰制度の導入等の検討	H
32	○ 事業所への啓発や関係機関等との連携による障害者雇用の促進	Z
33	○ 企業における障害者の雇用促進	W
34	○ ハローワーク等の就労支援機関と連携した障害者雇用の促進	H
35	○ 長野市障害ふくしネットへの関係機関の参加促進と連携の強化	H
36	○ 障害のある人が就労し安心して仕事を続けることのできる環境づくり	H
37	○ 特定求職者常用雇用促進奨励金制度の周知による利用促進	H
38	○ 障害者雇用への助成金に関する情報の収集と提供	H
39	○ 地域雇用の安定化に向けた雇用の受け皿となる企業立地の推進	Z
40	○ 雇用の受け皿となる企業立地の推進	H
41	○ 地域の特性や強みをいかした企業誘致施策の展開	H
42	○ 企業進出や産業の育成による雇用の創出	W
43	○ 農林業の六次産業化や集落営農の組織化による雇用の創出	W
44	○ 安定した雇用の確保	W
45	○ 雇用の確保	W
46	⇒(政策5-3 特色ある産業の集積と工業の高付加価値化【産業・経済分野】から)	

47	<b>勤労者福祉の充実</b>	
48	○ 自己啓発や教養講座など福利厚生のもとと機会の提供	Z
49	○ 中小企業の勤労者や中高年齢労働者向けの福祉施設の活用	Z
50	○ 勤労者福祉施設を活用した講座の開催など福利厚生のもとと機会の提供	H
51	○ キャリア形成や再就職・就労支援のための資格取得講座等の充実	H
52	○ 勤労者の生活向上と福祉の増進への支援	Z
53	○ 勤労者の生活向上と福祉の増進	H
54	○ 賃金体系など雇用環境への対策	W
55	○ 生活資金融資や中小企業の共済等の奨励	Z
56	○ 勤労者生活資金融資の奨励と中小企業退職金共済等への加入促進	H
57	○ (財)長野市勤労者共済会への支援	H

58	<b>※ワークショップ(作業部会)のまとめの意見のうち、他の政策で整理をするもの</b>	
59	○ 林業の担い手の育成	W
60	○ 農業の担い手の育成と支援	W
61	○ 農林業を身近に感じることのできる環境づくり	W
62	○ 創業者の育成と支援	W
63	○ まちづくりへの若者の参加促進	W
64	○ 商業における後継者の育成	W

後期基本計画大綱(案)構成要素	
基本施策名称	安定した地域雇用の確保
施策名称	雇用促進と人材の育成・活用
主な取組	

- ◇ ニート・フリーター・新卒者の職業意識の形成と就職支援
- ◇ 若年者の就職支援
- ◇ 職場体験や職業教育の充実による人材の育成
  
- ◇ 高齢者の就業機会の拡大
- ◇ 経験豊富な高齢者などの知識や能力の活用と技術継承の促進
  
- ◇ 女性の就業機会の拡大
- ◇ 仕事と子育てを両立できる環境づくり
- ◇ 各種支援制度の就業者への周知
- ◇ 支援制度を安心して利用することのできる職場環境の整備の促進
  
- ◇ 事業所への啓発や関係機関等と連携した障害者雇用の促進
- ◇ 障害のある人が就労し安心して仕事を続けることのできる環境づくり
- ◇ 障害者雇用に関する各種支援制度の周知と利用促進
  
- ◇ 企業立地の推進や産業の育成による雇用の創出
  
- ◇ 福利厚生のもとと機会の提供
- ◇ 勤労者福祉施設でのキャリア形成や再就職・就労支援のための講座等の充実
  
- ◇ 働きやすい労働環境への支援
- ◇ 生活資金融資や中小企業の共済等の奨励
  
- (政策5-2 活力ある農林業の推進と中山間地域の活性化【産業・経済分野】へ)
- (政策5-2 活力ある農林業の推進と中山間地域の活性化【産業・経済分野】へ)
- (政策5-2 活力ある農林業の推進と中山間地域の活性化【産業・経済分野】へ)
- (政策5-4 魅力と賑わいあふれる商業の振興【産業・経済分野】へ)
- (政策5-4 魅力と賑わいあふれる商業の振興【産業・経済分野】へ)
- (政策5-4 魅力と賑わいあふれる商業の振興【産業・経済分野】へ)

※分類 Z:前期基本計画に記述された施策の【主な取組】 H:前期基本計画 現況と課題に記述された「施策の今後の方向性」 W:ワークショップ(作業部会)のまとめ